

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・地域との交流を図るために、外部の催しに参加などを行ってはいるが、地域から招き入れる取り組みは少なく、地域との交流が不十分であると思われる。	職員・ご利用者が地域との交流を図ることで、より地域の中のグループホーム・地域の一員という意識を持ち、その中での社会活動・社会参加が行いやすい土壌を作る。	・地域交流喫茶の月1回の開催・継続。 ・老人会への出前講座などの参加。 ・青少年との交流を職場体験や福祉体験を受け入れることで図る。	6ヶ月
2	10	・以前より家族との意見交換の機会は増えているが、ご家族によっては来苑が少ない方もいる為、そういった方の意見を収集しづらい。	ご利用者の希望はもとより、御家族の要望・意見を反映させる為に、伝えられる機会を増やしていく。	・年に一度の家族アンケートの実施 ・ご家族の来苑やご利用者との外出の機会を増やし意見を聞きやすい環境を作る。	6ヶ月
3	49	・震災以降は外出機会が以前に比べ減っている。ご利用者の生活の活力を増やすためにみできる限り、外への外出機会を今よりも増やす必要がある。	イベントでの外出の他、月1回の外出を考え、また日頃からの地域での散歩を継続し行っていく。また夏・冬は少なくなりがちの外出の代替えとして、室内で行えるより良いサービスの検討も同時に行う。	・月1回のイベント外出または外出。 ・夏場、冬場の室内での活動の検討、実施。 ・地域散歩活動の継続。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。